

町民と議会をむすぶ

# 町議会 だより

 池田町

VOL. 23

令和4年11月1日発行

## 【9月定例会】

施政方針及び議案審議 ..... 2～3

町政に問う 一般質問 2人が登壇 ..... 4～5

### 委員会審議

決算常任委員会 ..... 6～7

文教経済常任委員会 ..... 8

総務厚生常任委員会 ..... 9



秋の池田  
またおいで!

# 町長施政方針及び諸事の報告



## 9月定例会

### 「木材利用多用途化事業(木になる紙技事業)」 「革新的木材集材事業(空路搬出実証事業)」

木望の森100年プロジェクトの新展開として森林環境譲与税を活用し、「木材利用多用途化事業(木になる紙技事業)」として、町産材を利用したオフィスペーパー作り。また「革新的木材集材事業(空路搬出実証事業)」では、奥山の木材をヘリコプターにて空路搬出し、その収益性・効率性の実証に取り組む。

### 空き家・廃屋の対応

区長会との意見交換を実施し、集落機能と連携した事業の具体化を図るため、年内に具体案をまとめ、令和5年度新規事業としての提案を検討していく。

### 地域分散型町営住宅 水海地区住宅建設事業

本年度当初2棟建設を計画していたが、最近の物価高や建築資材の高騰により1棟建設へ変更。残りの1棟分予算については、敷地周辺整備に充当し、整備を進めていく。

### 主 な 事 業

(千円未満切捨て)

- 8月4、5日に発生した豪雨被害の復旧経費……………3535万円
- 新庁舎・新図書館建設に伴う文化交流会館の解体に向けた教育委員会や図書館、公民館機能を開発センターに移設するための開発センター改装費……………3174万円
- 新型コロナウイルス感染症のオミクロン株に対応したワクチン接種経費……………502万円
- 木材利用多用途化事業(木になる紙技事業)、革新的木材集材事業(空路搬出実証事業)……………3330万円
- ほっとプラザ駐車場拡張用地購入費……………608万円

## 7月臨時会

### 新役場庁舎・新図書館建設計画

設計業務・設計者選定について、7月20日に二次書類審査、21日にヒアリング審査を実施。その結果、最優秀者として東京都の「有限会社香山建築研究所」、福井県の「株式会社走坂建築設計事務所」のグループを選定。今後は、選定グループとの基本設計業務委託契約の締結に向け、対応し進めていく。

### 主 な 事 業

(千円未満切捨て)

- 溪流温泉冠荘大浴場脱衣場エアコン故障による修繕工事費……………127万円
- 落雷にて故障した池田小学校設備の修繕工事費……………744万円
- 町道 月ヶ瀬芋ヶ平線 荒谷口橋(割谷地係)橋梁架替工事費……………1020万円

## 9月定例会

(令和4年9月13日～16日開催)

9月定例会が9月13日から16日の4日間にわたり開催され、一般会計予算の専決処分1件、一般会計及び各特別会計の令和4年度補正予算、条例に関する10議案、各委員の選任につき同意を求める3議案、計14議案が提出され、全議案可決されました。

### 定例会で提案された議案

議案第50号	専決処分の承認を求めることについて(専決第9号令和4年度池田町一般会計補正予算(第5号)) …8月4日、5日に発生した豪雨被害の復旧経費など3535万を追加補正
議案第51号	令和4年度池田町一般会計補正予算(第6号) …教育委員会や図書館移設による開発センター改装費、新型コロナウイルスワクチン接種費、革新的木材集材事業(空路搬出実証事業)、住み家新築支援事業費など1億832万7千円を追加補正
議案第52号	令和4年度池田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) …ほっとプラザ駐車場拡張用地購入費608万7千円など974万9千円を追加補正
議案第53号	令和4年度池田町簡易水道特別会計補正予算(第2号) …土木工事積算システム使用料8万3千円を追加補正
議案第54号	令和4年度池田町下水道事業特別会計補正予算(第2号) …土木工事積算システム使用料8万3千円を追加補正
議案第55号	令和4年度池田町介護保険特別会計補正予算(第2号) …前年度補助金返還により返還金707万7千円を追加補正
議案第56号	池田町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について …育児休業の分割取得、非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和等を講じるため条例の一部改正
議案第57号	池田町個人番号カードの利用に関する条例の一部改正について …個人番号カードの取扱いの変更により、条例の一部改正
議案第58号	池田町印鑑条例の一部改正について …個人番号カードに関する省令の名称の変更等に伴い、条例の一部改正
議案第59号	農地等高度利用促進事業(池田清水谷地区)計画変更について …清水谷地係にて施工されている町営土地改良事業の計画の一部変更
議案第60号	令和3年度池田町各会計歳入歳出決算の認定について
議案第61号	監査委員の選任につき同意を求めることについて
議案第62号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
議案第63号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて

【審査結果】議案第60号については、宇野邦弘議員が反対、その他13議案は全員一致で採択

## 7月臨時会

(令和4年7月27日開催)

7月臨時会が7月27日に開催され、一般会計予算の専決処分2件、一般会計補正予算に関する1議案、工事請負契約に関する1議案、計4議案が提出され、全議案可決されました。



### 臨時会で提案された議案

議案第46号	専決処分の承認を求めることについて(専決第7号令和4年度池田町一般会計補正予算(第2号)) …溪流温泉冠荘の設備の緊急的な修繕を行うため修繕費127万6千円を追加補正
議案第47号	専決処分の承認を求めることについて(専決第8号令和4年度池田町一般会計補正予算(第3号)) …池田小学校の躯体設備が落雷により故障したため、緊急的な修繕を行うため修繕費744万7千円を追加補正
議案第48号	池田町一般会計補正予算(第4号) …緊急的に橋梁の架け替えが必要となったため、橋梁の設計および迂回路の整備工事費1020万円追加補正
議案第49号	工事請負契約の締結について …池田町道のオアシスフォーシーズンテラス整備工事(設計・施工)について、業者と仮契約であるため契約金7億9039万5500円にて本契約締結を行う

# 町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

一般質問



宇野 邦弘 議員

池田町から森林組合に対する補助が他市町に比べて少ないのでは

丹南地区の4つの森林組合が合併した。このことで各市町から森林組合への補助などの違いも明らかになっている。池田町では森林組合に対する補助が他の市町に比べて少ない。森林組合は多くの町民が加入し



▲合併した森林組合の池田支所

ている協同組合であるがゆえに、他の市町では、間伐補助だけでなく作業道や運搬作業についても補助している。越前市では小規模間伐への補助制度も設けている。他市町並みの補助や補助事業を設けるように。

木望の森づくり課長

合併によって経営合理化が図られると考える。補助については横並びでなく政策目的に沿った形が必要。町としては森林組合でなく森林所有者への支援が必要と考えている。森林経営計画対象外の間伐支援は県単事業の「美しい森林景観再生事業」にて、間伐や危険木除去を実施している。

1丁も園でのオムツの園廃棄を

こども園では使用済みオムツは現在、保護者持ち帰りとなっているが、全国的には6割の自治体が園廃棄となっている。いまコロナ禍のもと、またノロウイルスなどの感染症対策のためこのことで、持ち帰りをやめて園廃棄にする園が増えている。衛生面や保護者負担の軽減にもなるので、園

ダム関係車両の台数減対策を

ダム工事のための車両通行が激しくなっている。ダム本体工事を使う生コンのプラントも稼働していない中で、ミキサー車もすでに何十台と行きかっている。現在の通行量、今後の予



▲大型車が走行する様子

想はどうなのか。旧池田分校宿舎から現場への通勤については、乗り合わせするなど、車台数を減らすことを求めるように。

町土整備課長

生コン車を含む大型工事車両は月に約五千台程度で、今後も同程度になると聞いている。町も旧池田分校宿舎からの車両数を減らす必要があると考える。国も中型ワゴン導入等に取り組むと聞いている。

故安倍氏「国葬」について

故安倍晋三氏の「国葬」には、多くの国民が疑問と反対の声をあげている。安倍氏への評価は国民の間で大きく分かれており、国民的追悼を行う状況にない。旧統一教会との癒着の中心に安倍氏が存在していたことも大問題。教育基本法14条は教育の政治的中立を求めている。教育委員会として告知を行わないように求める。町長も国葬に反対し弔慰表明の強制は行わない、「追悼広告」の掲載などにも応じないように求めたい。

教育長

現在国や県からの指示はないので対応は未定。

町長

福井県町村会長として国葬儀には参加する。追悼広告については、今までも池田町は民間企業からの追悼や祝いの事出告は出していないので、今回も出さない。

一般質問



丸石 純一 議員

事業や施策を評価公表し、より町民ニーズの把握を求めたい

近年の人口減少・少子高齢化の加速、厳しい財政状況など地方自治体を取り巻く環境が大きく変化を遂げる中で最小の経費で最大の効果を上げるには効率的・弾力的な行政運営を図る必要がある。このような背景を受け池田町でも平成28年度より行政評価制度を取り入れている。簡単に言うなれば行政評価とは、町が行う施策や事業についてPDCAサイクルを繰り返すことにより取り組みの成果を評価・検証して、施策や事業の改善、予算編成や新たな企画などへ反映させる仕組みだと理解している。総務省が平成28年に全国の自治体に取り組み状況を把握するためアンケートを

取っている。これによると池田町としてはかなり前向きに取り組んでいるという状況になっている。ここで質問だが、平成28年度より行政評価について導入しているが、現在の取り組み状況について、当時との相違があるかを伺う。

総務財政課長

28年度の総務省のアンケート結果と概ね同じであり、実際に事業の評価も行っている。

この行政評価もアンケートを見る限りでは、議会報告は特に無しとなっている。また資料としても行政評価を見た記憶は無いが、是非とも公表をお願いしたいと思っているが、アンケートを見る限り、政策・施策・事

務の全てにおいて、行政評価をしているとなっている。現在までに池田町において政策評価を行っているもので、きちんと体裁まで整えているものがあれば、具体的な事業名について伺う。

総務財政課長

行政評価

をおこなった事業として、平成28年度に地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業を。平成30年度に地方創生加速化交付金事業を。令和元年度に地方創生拠点整備交付金事業がある。また第1期地方創生総合戦略については、評価書を作成し、地方創生総合戦略町民委員会での説明やホームページでの公表を行っている。

また平成28年度の調査では、導入した狙いとして住民ニーズの把握とあるが、住民意見を取り入れる仕組みは無いと、少し矛盾した回答もしている。この点を踏まえて現在までの政策・施策において住民ニーズをどのように反映しているかを伺う。

総務財政課長

住民ニーズの把握については、二

ズの把握とは住民個人や事業者それぞれの要求を叶えるという趣旨ではなく、地域課題を全体的に把握するために行うものと、考えている。そのため地方創生総合戦略町民会議をはじめとした各種委員会の中で現状や課題の共有を通じて、各種各層のご意見を汲み上げている。また職員の日々の業務活動での意見の把握も行っている。

何でこの事業をやるの？収益は？などと町民の声を聞くことがある。これだけ良い事業をしているのにPRが弱いために、どうも継ぎはぎ・思い付きの政策に見えることがある。全ての事業につながりがあり、反省を活かして次の政策を行っているのと、しっかり伝えてもらうためにも行政評価は、議会への報告や公表を視野に検討しているかを伺う。

総務財政課長

議会への報告や公表については、地方創生総合戦略のように業績評価指標KPIの設定があるものについてはホームページ等で公表している。

また決算委員会等の場でも報告を行っていると考えているが、その他については内部資料として利用しており外部に出す為の資料として作成はしていない。

葉月新能事業が、冠山トンネル開通に向けたアピールの1つの側面もあるので、是非とも今回の事業について分析をして、来町者・住民ニーズを取り入れて開催出来てよかったです、関わった皆さんが思えるような事業にしていきたい。

「悪い・来い・濃い事業」についても来年度に向けた住民ニーズの把握を行うかどうかを伺う。

農村政策課長

池田町の観光振興発展に向け、農村の知恵を活かした地域資源の活用や新たな商品の開発を進めようとする池田農村観光協会、池田屋、更には「まちUPいけだ」など主体的かつ積極的に事業展開を行う事業者においては、しっかり聞いていきたいと考えている。

# 質疑応答

委員長 松井靖明 副委員長 岩崎昭一  
 委員 飯田拓見 佐野和彦 宇野一正  
 和田義則 宇野邦弘 丸石純一

## 総務財政課

**宇野一正議員** 非常時の備蓄食料はどの程度あるのか。また民間企業などの災害時の協定などは結んでないか。

**総務財政課長** 備蓄量は、飲料水500㍓のペットボトルが500〜600本程度。非常食おおよそ500個ほど。一部の民間企業とは、災害協定を締結している。

8月に発生した南越前町の豪雨災害では、先方より飲料水の支援要請があり支援を行ったところである。

**和田議員** 池田町では砂防ダムが多くあるが、ダム内の土砂が満タンになっているか調査しているのか。

県管轄で県土木がやっている可能性はあるが、その際は県から調査結果をもらうというのでは。

**総務財政課長** 町では調査を行っている。県が調査を

行っているかは把握していないが、県土木に確認してみる。

**宇野邦弘議員** 旅費の不要額が多いが。

**総務財政課長** コロナのため研修等が中止になる事も多かったため、不要額が発生した。また、web会議も多くなってきたことも理由にある。

**丸石議員** エコポイントについてはマイバッグ持参が当たり前になってきているので、エコポイント事業については改善・工夫が必要だと思うが。

**総務財政課長** エコポイントの件については新たな仕組みなど町民と共に検討していきたい。

**宇野一正議員** 地域自治体交付金は2〜3地区しか利用がないが、町民に利用の仕方が分かり辛いのではないかと。

**佐野議員** 申請する際、書類など複雑であり、申請に慣れていない区は一苦労する。税金を財源としているので、簡素し過ぎはダメだが、

申請書類の簡素化を検討してほしい。

**総務財政課長** 区長会にて全地区へ説明しているが、利用する地区はいつも同じな状況。やり方は検討する。

## 住民税務課

**佐野議員** 公用車を購入しているが、脱炭素宣言もしているのに、EV車の購入を検討すべきではないか。

**副町長** 公用車については、今後、EV車にするべきと思う。

**飯田議員** 葬斎場の建替え計画はあるのか。

**住民税務課長** 既存施設は昭和52年に完成、都度点検はしているが建屋自体が老朽化している。

建替え計画に向けて、建替え場所等の検討をしている。

## 保健福祉課

**佐野議員** 決算書では診療所会計は700万円ほど黒字になったというところか。

**保健福祉課長** 黒字となったが、医師が1名体制だったため人件費がかからなかったことが要因。ただ森医師1名体制では、かなり負担が多く苦慮した。

**丸石議員** 池田診療所で足りない物などの声はないか。

**保健福祉課長** 施設機器で古い物がある。今年血液分析機器を入れ替える予定。あとは待合室の待ち時間が長く、特に薬剤をもらうのに時間がかかっている。このため改善方法など検討している。



## 教育委員会

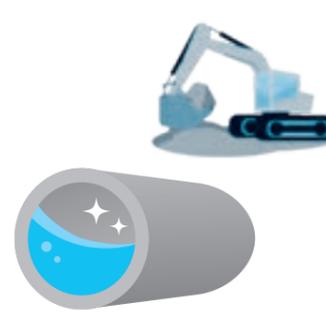
**宇野邦弘議員** 給食費の賄材料費は、物価高騰などの影響はどうか。

**教育委員会事務局長** 昨年は影響を受けていないが、今年は影響を受けている。何年経過したか。耐用年数的にも傷みも出て来ているはずだが。

**飯田議員** B&Gプールは平成6年6月ころに完成。現在、大規模修繕としては屋根修繕を施工している。その他軽微な修繕は随時実施している。プール本体は傷んでいない。

## 町土整備課

**佐野議員** 簡易水道の長寿命命化計画に取り組んでいるが、単に配管等を変えられるだけで大丈夫なのか。水源が足りないなどはないのか。



**町土整備課長** 長寿命化として高密度ポリエチレン管を使用している。従来の管よりも伸縮性が高く地震による地盤のズレにも耐えるなど、耐久性が向上している。100年は持つと言われている資材に更新している。水源の水量は不足していないが浄水場も随時、修繕しながら更新をしていく予定。

**和田議員** 現在、施工している上水道配管の敷設工事は、どの程度まで進んでいるのか。

**町土整備課長** 現在は中区のみで施工しており、今後は他の地区も追加しながら施工していく予定。

## 決算常任委員会

# 質疑応答

委員長 松井靖明 副委員長 岩崎昭一  
 委員 飯田拓見 佐野和彦 宇野一正  
 和田義則 宇野邦弘 丸石純一

## 農村政策課

**松井議員** 昨年度のスキーマの営業は良かったと思う。ただ現場担当職員の出勤が大変だったと思う。

黒字になったのは、現場職員が対応した分、人件費が抑えられたからか。

また、スキー場での昼食がカップラーメンでは池田町としては寂しい。

地区や組織とも連携し、池田の物を提供できないか。

**農村政策課長** 黒字になっ

## 木望の森づくり課

**松井議員** プロジェクト推進上、視察や研修などが必要とされる部署だが不要額が多いのではないか。

**木望の森づくり課長** コロナの影響もあり、執行額は少なかった。今年度は、研修や視察に向いている。

**飯田議員** 森づくり課の職員は、今何名所属しているのか。実質、事業を進める職員はどのくらいか。それで事業が回せるのか。

**木望の森づくり課長** 課長1名、県派遣職員が課長代理として1名、林野庁派遣職員1名、主事職員2名の



▲山林内をパトロールする職員

計5名で事業に取り組んでいる。

**副町長** 林野庁関連の補助申請や計画申請などの資料作成やチェック作業が膨大になり過ぎる。

例えば伐採届の場合は、路網あるなしに関わらず現場を見ることになっているが、これも負担となる。

こつした業務が様々にあつて5名全員の時間が奪われてしまう。保健師のようにその道のプロで異動が無い職種となっていないため、2年程度で異動となると経験、専門性が蓄積されず業務遂行が難しくなる。



# 令和3年度 事業報告・決算

## 池田屋

丸石議員

冠荘の経営は、町からの補助金を前提にしている部分が大変だが、補助金に依存した経営に成っているのか。

農村政策課長

過去には4000万円の補助をしていた経緯があるが、今では2500万円の補助で経営が出来る状況であり、今後も経営努力など行っていく。

副町長

冠荘は3セフであり町の施設である。町からの補助が減つても経営できるように努力することは必要であり、もちろんサービス等の改善も必要だと考えるが、補助金が多いからと言って、ダメという認識はない。池田町の宿泊施設として、価値ある施設だと思っている。

宇野一正議員

富山県の山奥でやっている山菜料理店は、予約が多く入ってくるようなところもある。冠荘も食の面でもっと創意工夫ができないか。

農村政策課長

池田らしさを取り入れた料理など工夫をしながら取り組んでいる。リピーターのお客様などからも喜んでいただいている。

松井議員

志津原エリアでは、「池田屋」まちUPいけだ」の管理施設がある。将来的には、1組織の管理にするべきではないか。

農村政策課長

「道のオアシス」も含め、管理組織の一本化が良いかは、今後検討していく。



## 業公社

丸石議員

公社が行っている農地の中間管理では、公社は地権者から比較的に条件の悪い農地を預かり、それを担い手農家へ貸し出すようにしているが、その中で水路が壊れている場合がある。これは公社が修繕して貸し出すことは無いのか。

農村政策課長

そもそも農地は、地権者や集落の財産であり、公社は、次の耕作者が決まるまでの管理を適正に行う組織であり、施設等の条件整備を行うものではない。

## まちUPいけだ

宇野一正議員

まちの駅の収支決算が黒字なのは、人件費が前年度から減っているためか。また

まちUPいけだ全体で職員が減ったことによる業務分担等への影響はどうか。

農村政策課長

まちの駅の人件費は、確かに前年度より職員1名分が減った收支結果となっているところもあり黒字である。また業務分担等は、限られた職員でそれぞれが経営改善に尽力している。

## 編集後記



今回は令和3年度会計歳入歳出決算、一般財団法人決算報告など多くあり、決められたページの中で、審議内容を町民の皆さんに分かりやすく届けるように心掛けて編集しました。皆様のご意見をお寄せください。(宇野一正)

## 表紙の写真

10月8日・9日の2日間に渡り、町民グラウンドにてウッドスポーツ「ゲッター選手権大会2022」が開催されました。8日の夜には参加者と大会に協力していただいた池田町民との交流会も開催されました。また表彰では大会名誉会長であるタレントのパックンマックンより「木製」のオリジナルメダルや楯、副賞として池田町産特産品が授与されました。

### 議会広報特別委員会

- 委員長 丸石 純一
- 副委員長 宇野 一正
- 委員 佐野 和彦
- 委員 宇野 邦弘
- 委員 松井 靖明
- 発行責任者 飯田 拓見